

様式第2号

視察研修先	山形県西村山郡大江町	氏名	阿部 清
視察研修項目	空き家対策について		
<p>1. 空き家の利用状況について</p> <p>空き家実態調査は、各地区の町会長が目視により空き家状況を把握する方法をとっている。2021年度の調査では、大江町の世帯数2,841戸、空き家数295戸となっている。</p> <p>大江町では、空き家を老朽度・危険度によりA・B・C・Dの4段階に分類している。再利用可能な「A・B」は171戸、老朽化が著しい「C」は100戸、倒壊や飛散など危険がひっ迫しており解体が必要と思われる「D」は24戸となっている。Dと判断された場合は、個人に対し文書や電話で状況をお知らせしている。その時に、解体に対しての補助等をパンフレット等で詳しく伝えているが、思うように進んでいない。</p> <p>2. 空き家バンクの利用</p> <p>空き家バンクへの物件登録申請状況は令和元年4件、令和2年2件、令和3年15件、令和4年18件となっている。</p> <p>大江町の空き家バンク登録の考え方は、建物を空き家の状態にしておくとすぐに傷んでしまうため、売買等まで早くつなげるという考え方である。家財の除去など、家をきれいにしてから空き家バンクに登録するという仕組みでは時間がかかってしまうため、不動産業者から建物の状態を調査してもらい、了解が出たら、家財等が残っていても空き家バンクに登録でき、並行して家財を片付けてもらうという方法をとっている。</p> <p>新規就農者を志し大江町に移住する世帯向けに、西山杉を活用した1戸建ての住宅を町内各地の農地近くに4棟建築し、また、月あたり家賃4万円、光熱水費1万円を上限とする補助を5年間受け取ることができる等、農業を目指す世帯に様々な支援をしながら移住定住の促進を図り、人口減少対策に取り組んでいる。</p> <p>課題としては、大江町では、働く場所が限定されるため移住に難色を示す方もいるようだ。行政の助成金の内容だけで移住を決める人は少なく、地域に魅力がないと移住定住には結びつかない。本議会でも、先進地の行政視察等を通して、他にはない、子育て環境や住みやすい環境を創りだしていく事が求められているようだ。</p>			